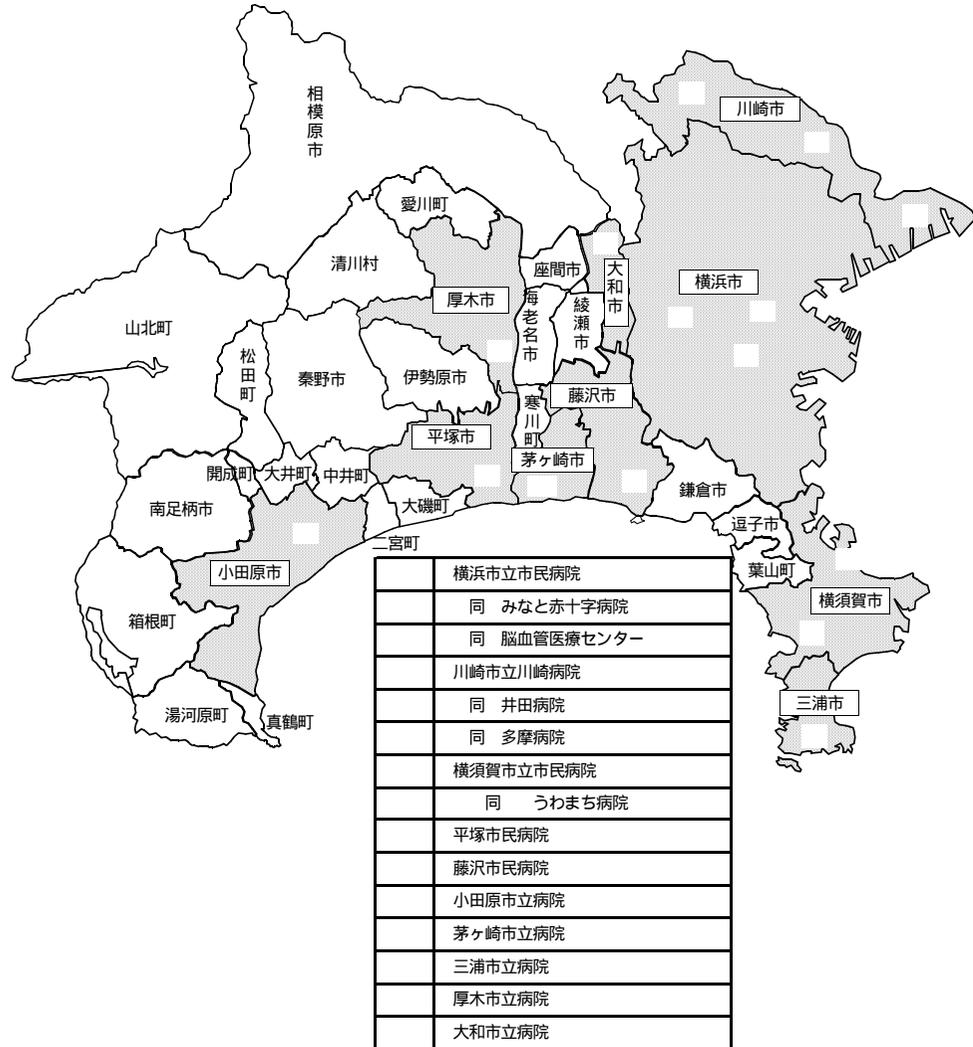


### 3 病院事業

#### (1) 事業概要

平成18年度における病院の事業数は10事業、病院数は15病院であり、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、三浦市、厚木市及び大和市の10市で設置している。

神奈川県内市町村立病院分布図



病床数は、6,679床（うち一般病床6,455床）で、前年度比30床の増加となっている。

病院当たりの病床数をみると、「101床から299床」が1病院、大規模病院の基準である「300床以上」が14病院で合計6,543床と、全体の98.0%を占めている。

また、病床利用率（年延入院患者数／年延病床数×100）は80.6%であり、前年度82.4%に対し 1.8ポイント下降した。

職員数は5,920人で、前年度の5,931人に対して 11人、 0.2%の減となっている。内訳は、医師664人（前年度650人）、看護師3,652人（同3,618人）、准看護師72人（同79人）、事務職員383人（同391人）、その他の職員1,149人（同1,193人）となっている。

病床数・病床利用率・職員数の年度別推移

項目		年度					増減(18-17)	
		14	15	16	17	18	率(%)	
病床数(床)	一般	5,458	5,924	5,815	6,475	6,455	20	0.3
	その他	166	172	174	174	224	50	28.7
	計(A)	5,624	6,096	5,989	6,649	6,679	30	0.5
病床利用率	一般	85.8%	83.1%	82.8%	83.7%	81.9%	1.8	-
	その他	49.2%	45.1%	42.8%	37.4%	41.6%	4.2	-
	計	84.7%	82.0%	81.6%	82.4%	80.6%	1.8	-
職員数(人)(B)		6,010	6,358	6,198	5,931	5,920	11	0.2
病床100床当りの職員数(B)/(A)×100(人)		106.9	104.3	103.5	89.2	88.6	0.6	-

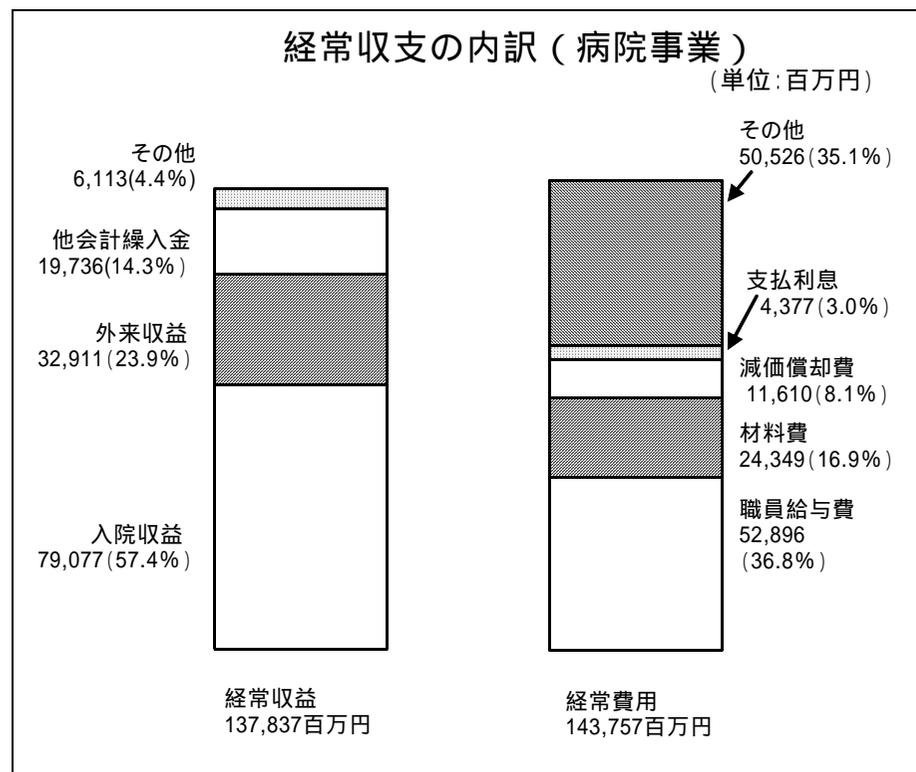
注 一般病床は、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床。  
その他の病床は、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床の計。

(2) 経営状況

ア 経常収支

経常収益は、1,378億37百万円で、前年度の1,294億1百万円に比べ84億36百万円（6.5%）増加し、経常費用は、1,437億57百万円で、前年度の1,335億88百万円に比べ101億69百万円（7.6%）増加している。

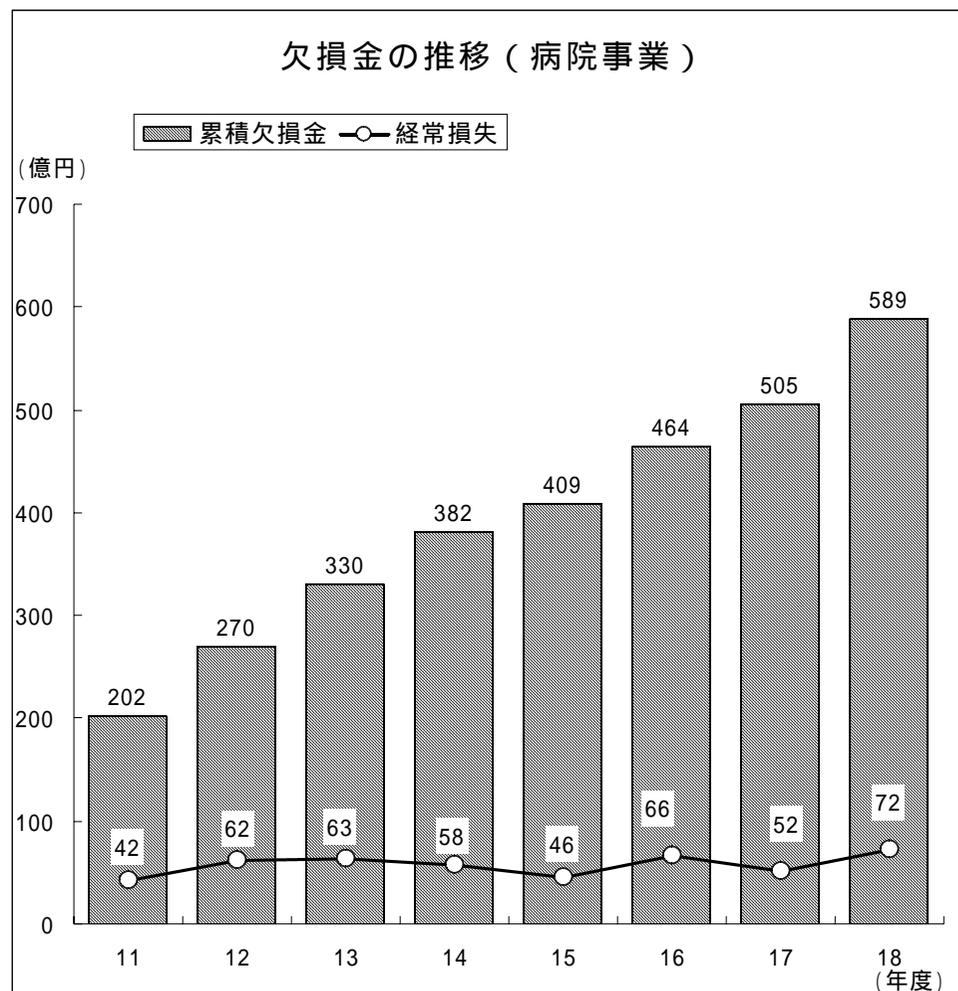
経常利益を生じた事業数は10事業中2事業（前年度3事業）で、その額は13億20百万円と前年度に比べ3億10百万円増加し、また、経常損失を生じた事業数は8事業（前年度7事業）で、その額は72億40百万円と、前年度に比べ20億43百万円増加した。



注 ( )内の数値は、計に対する構成比を示します。(千円単位で算出したものです。)表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

医業収支比率（医業収益 / 医業費用 × 100）は、88.7%となり、前年度の88.9%から 0.2ポイント下降し、経常収支比率（経常収益 / 経常費用 × 100）は95.9%と、前年度の96.9%から 1.0ポイント下降した。

累積欠損金は、589億35百万円で前年度に比べ84億29百万円、16.7%増加している。また、1事業で不良債務を生じている。

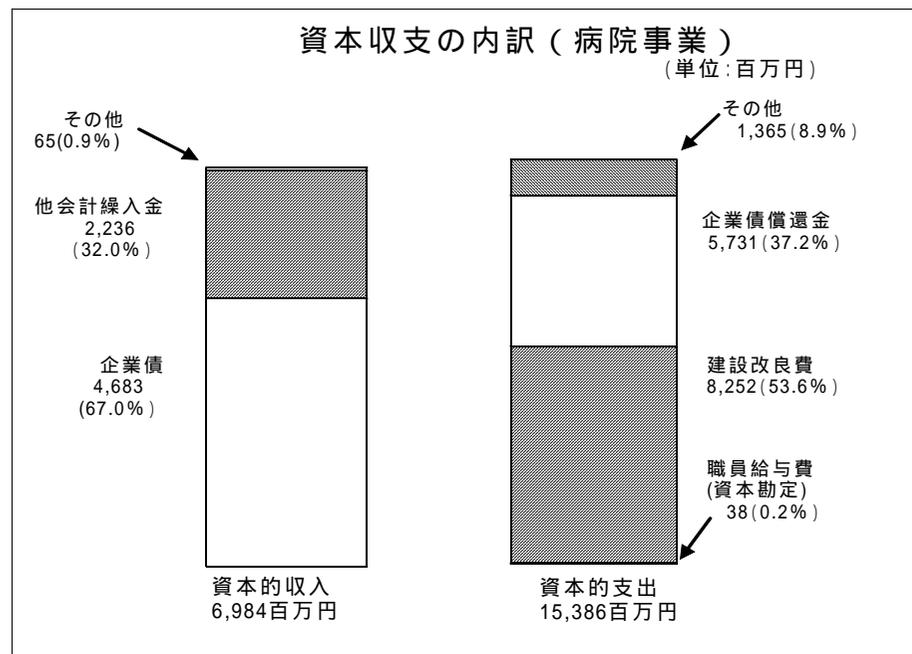


## イ 資本収支

資本的支出は、153億86百万円で、前年度257億23百万円に比べ、103億36百万円、40.2%減少した。

このうち建設改良費（資本勘定職員給与費を含む）は82億90百万円（構成比53.9%）で、川崎市立多摩病院建設事業の終了等により、前年度の196億40百万円から113億50百万円、57.8%の減少となった。また、企業債償還金は57億31百万円（同37.2%）であり、前年度の55億40百万円から1億90百万円、3.4%の増加となっている。

一方、これに対する主な財源内訳は、企業債46億83百万円（前年度163億67百万円）、他会計繰入金22億36百万円（同43億87百万円）となっている。



注 ( )内の数値は、計に対する構成比を示します。(千円単位で算出したものです。)表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

## (3) 診療収入

診療収入は、1,119億88百万円で、前年度の1,038億68百万円に比べ81億20百万円、7.8%増加している。うち入院収益は790億77百万円（前年度723億52百万円）、外来収益は329億11百万円（同315億16百万円）で、前年度に比べそれぞれ9.3%、4.4%の増加となっている。

患者1人当たりの診療収入は、入院で40,364円（前年度38,115円）と前年度に比べ2,249円、5.9%の増加、外来においては、9,211円（同9,000円）で前年度から211円、2.3%の増加となっている。

また、患者数については、年延数にして入院は1,959千人（前年度1,898千人）で前年度に比べて61千人、3.2%の増加となっており、外来は3,573千人（同3,502千人）で、前年度に比べ71千人、2.0%の増加となっている。

## (4) 経費

職員給与費（収益勘定）は528億96百万円で、前年度の536億1百万円に比べ7億4百万円、1.3%減少し、医業費用の38.7%（前年度42.2%）、診療収入の47.2%（同51.6%）を占めている。

材料費のうち薬品等の医療材料費は、235億91百万円で、前年度の239億34百万円に比べ3億43百万円、1.4%減少し、医業費用の17.3%（前年度18.8%）を占め、診療収入に対する割合は、21.1%（同23.0%）となっている。そのうち薬品費は128億49百万円で、前年度の128億83百万円に比べ、34百万円、0.3%の減少となり、医業費用に占める割合は9.4%（同10.1%）、診療収入に対する割合は11.5%（同12.4%）となっている。

また、薬品使用効率（薬品収入/薬品費×100）については114.7%で、前年度の120.1%に比べ5.4ポイント低下している。

損益収支等の推移

(単位:百万円)

項目		年度					増減(18-17)			
		14	15	16	17	18	増減	率(%)		
総収益(A)		115,314	122,046	119,517	129,579	138,153	8,574	6.6		
経常収益	医業収益	診療収入	入院	60,381	65,587	64,870	72,352	79,077	6,724	9.3
			外来	30,905	30,934	30,581	31,516	32,911	1,395	4.4
			計	91,286	96,521	95,451	103,868	111,988	8,120	7.8
		その他	8,370	9,053	8,974	9,071	9,155	84	0.9	
		計(B)	99,656	105,574	104,425	112,939	121,143	8,204	7.3	
	医業外収益	他会計補助金	3,191	3,215	2,334	3,310	3,324	14	0.4	
		他会計負担金	10,581	11,010	10,569	11,043	11,086	42	0.4	
		その他	1,825	1,956	2,083	2,109	2,285	176	8.3	
		計(C)	15,597	16,181	14,986	16,462	16,694	231	1.4	
	計(C)		115,253	121,755	119,411	129,401	137,837	8,436	6.5	
総費用(D)		121,113	125,802	126,390	134,085	147,098	13,013	9.7		
経常費用	医業費用	職員給与費	53,961	56,987	56,299	53,601	52,896	704	1.3	
		材料費	27,751	26,680	25,126	24,730	24,349	381	1.5	
		その他	33,349	35,929	37,737	48,709	59,376	10,667	21.9	
		計(E)	115,061	119,596	119,162	127,040	136,621	9,582	7.5	
	医業外費用		5,696	5,677	5,438	6,549	7,136	587	9.0	
		計(F)	120,757	125,273	124,600	133,588	143,757	10,169	7.6	
患者1人1日当たり診療収入(円)										
入院		35,271	35,840	36,369	38,115	40,364	2,249	5.9		
外来		8,855	8,552	8,791	9,000	9,211	211	2.3		
患者数(人)	入院	年延数(G)	1,711,919	1,829,985	1,783,664	1,898,283	1,959,080	60,797	3.2	
		1日平均	4,743	5,000	4,886	5,334	5,367	33	0.6	
	外来	年延数(H)	3,490,009	3,617,016	3,478,785	3,501,872	3,573,077	71,205	2.0	
		1日平均	14,070	14,250	13,834	14,114	14,084	30	0.2	
外来患者入院患者比率(H)/(G)		203.9%	197.7%	195.0%	184.5%	182.4%	2.1	-		
総収支比率(A)/(D)		95.2%	97.0%	94.6%	96.6%	93.9%	2.7	-		
経常収支比率(C)/(F)		95.4%	97.2%	95.8%	96.9%	95.9%	1.0	-		
医業収支比率(B)/(E)		86.6%	88.3%	87.6%	88.9%	88.7%	0.2	-		
職員給与費/診療収入		59.1%	59.0%	59.0%	51.6%	47.2%	4.4	-		
職員給与費/医業費用		46.9%	47.6%	47.2%	42.2%	38.7%	3.5	-		
薬品使用効率		107.4%	110.0%	112.1%	120.1%	114.7%	5.4	-		

注 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符号しない場合があります。  
また、増減率等の比率は、千円単位で算出したものです。

(5) 他会計繰入金の状況

他会計繰入金は、221億86百万円で、前年度の242億87百万円に比べ、21億1百万円、8.6%減少している。

収益的収入への繰入金は199億50百万円で、前年度の199億円に比べ、49百万円、0.2%の増加であるが、経常収益に占める割合は14.5%で、前年度の15.4%に比べ0.9ポイント減少している。

資本的収入への繰入金は22億36百万円で、前年度の43億87百万円に比べ21億50百万円、49.0%減少している。

また、繰入金のうち、基準内繰入金は193億54百万円(繰入総額の87.2%)であり、うち収益的収入への基準内繰入金は176億26百万円(収益的収入への繰入総額の88.4%)、資本的収入への基準内繰入金は17億28百万円(資本的収入への繰入総額の77.2%)となっている。

基準外繰入金は28億32百万円(繰入総額の12.8%)であり、前年度の55億85百万円から27億53百万円、49.3%の減少となっている。

他会計繰入金の状況

(単位:百万円, %)

項目		年度		増減	
		18	17	額	率
収益	基準内	17,626	16,339	1,288	7.9
	基準外	2,323	3,562	1,238	34.8
	計	19,950	19,900	49	0.2
資本	基準内	1,728	2,363	636	26.9
	基準外	509	2,024	1,515	74.9
	計	2,236	4,387	2,150	49.0
合計	基準内	19,354	18,702	652	3.5
	基準外	2,832	5,585	2,753	49.3
	計	22,186	24,287	2,101	8.6

注 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。  
また、増減率は、千円単位で算出したものです。